

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 「学び合い活動」を効果的に位置付け、子ども達が主体的に学習に取り組むことができるようにする。 より地域を知り、自分の生き方を創り出すことに焦点化した「ぎふMIRAI's」のカリキュラムづくりを進める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 自己の考えを深められる「学び合い活動」を追究することで、主体的に学習に取り組む児童が増えてきた。 教科部や学年部における実践を重ね、成果や課題を洗い出したことがカリキュラムの改善に活かされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を効果的に活用し、仲間との学び合いを通して、主体的に学習に取り組もうとする児童が育っている。 ICT機器の便利さも生かしつつ、紙と鉛筆を使って自分の言葉で自分の考えを書く力も付けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の考えを深められる「学び合い活動」を充実させることで、児童が学ぶ楽しさをより実感できるようにする。 子ども達が自らの学びを他者に向け、発信できる力を育む。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールを活用し、家庭・地域・各種団体との連携を図り、地域に愛着と誇りをもてる教育活動を推進する。 小中一貫教育推進事業における3部会の実践交流を通して、9年間を見通した重点目標を設定し、教育活動を推進する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 「ぎふMIRAI's」の学習で、地域・各種団体の方々のご協力で様々な体験的な学習をすることができ、学習をさらに充実させることができた。 中学校区で共通の目標をもち、各校で実践をした。今後も、各担当が中心となって連携を図り、指導の工夫改善を図っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人的・物的資源を多く活用していることが分かった。 七郷地区で育ってよかったと思う児童を増やしていきたい。そのために、地域と学校、子ども達とのつながりを大切にできるよう努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育力を生かし、教育活動により一層参画いただけるようにする。 従来の活動に加え、特に「ぎふMIRAI's」に関わる活動において地域との新たな連携が生み出せるよう、人材の確保に努める。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 温かい対話のある教職員集団づくりを目指し、意図的に対話の場を設定する。 主体的に学ぶ教師を目指し、校内研修を通して教師自身の学び(研修観)をアップデートする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が学びたいと希望する内容をもとに研修計画を立て、研修を実施することができた。教育課題に対応するために必要な知識や技能を身に付けることができた。 教職員が得意とする分野で講師となり研修を行うことで、互いに専門性を高めるとともに、互いを認め合う教職員集団づくりにつながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観を通して、教職員が児童一人一人を認め励ます指導をしていることが十分に伝わってきた。 学習の中で抱いた疑問を解決しようと何度も質問をしたりメモをとったりする姿から、先生方の日々の指導の積み重ねを感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容に係るアンケートを事前に実施することで、研修会の必然性を高めていく。 職員研修を計画的に位置付けることで、職員一人一人のスキルアップにつなげていく。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止のために「ここタン」、「心のアンケート」等を活用し、子ども心のSOSを見逃さないようにする。 授業支援システムの思考ツールを活用し、協働的な学習の充実を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 小さな事案も些細なトラブルとして見過ごすことなく児童の声に真摯に耳を傾け、チームで丁寧に対応することに努めた。 思考ツールを活用した授業づくりを行うことが協働的な学びの充実につながった。基礎学力の定着につなげるためのより効果的な活用方法についてさらに追究していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 些細なことにもしっかり対応していること、事案に対して複数の職員で組織的に対応していることが分かり、安心した。 授業に活気がある。学級の雰囲気がよく、子どもが自分の思いや考えを堂々と発表している。子どもが安心して生活できていることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなが安心して生活できる環境づくりを目指し、生徒指導事案は、早期発見、事後の見届け、情報共有まで確実にを行うようにする。 また、子ども達が安心して学習に取り組むことができるよう、協働的な学習の充実を継続していく。
災害、事故に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 現職研修を通して、職員の危機管理意識を高める。 発生事案に対して、連絡、指導体制を確立し、迅速にチームで対応できるようにする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 「命を守る訓練」は出火場所を変更したり、校内放送が使用できない場合を想定した訓練を位置付けたりしたことで、教職員の危機管理意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事案に対する学校の対応の早さがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校区や、地域と連携した防災教育の充実、在り方を模索していく。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> みんなが心地よい空間の中で学習・生活できる環境づくりに向けて、毎月の安全点検を確実に実施する等、安心安全な教育環境をつくる。 教職員の危機管理意識の向上を図り、教育環境と学校財務環境の整備に努める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の安全点検を確実に実施し、修繕が必要な場合には、迅速な対応に努めた。 体育館への通路をペンキで色付けし、バリアフリー化を図るなど、安心安全な環境で生活できるよう計画的に改善を図った。 複数の目で確認するなど適切な会計業務が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教室、廊下等、整理整頓が行き届いている。 児童の安全、くらしやすい地域のために、登下校時の安全指導に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、毎月の安全点検を確実に実施し、安心安全な環境づくりに努める。 教職員の危機管理意識の向上を図る。